

# も・み・じ

## 103



発行：放送大学福島学習センター  
機関誌

〒963-8025

郡山市桑野1丁目22-21

TEL 024-921-7471

いわきサテライトスペース

TEL 0246-22-7318

<https://www.ouj.ac.jp>

### －もみじの由来－

福島学習センターの建物は、もみじ館と呼ばれ、郡山女子大学発祥の地である。青葉の頃、紅葉の時期それぞれに美しい色どりが心をなぐさめる。当センター機関誌の名称としてまことにふさわしい。

重要!

## お知らせ



◆面接授業や学習センター等の重要な情報については、システムWAKABA及び福島学習センターウェブサイトに掲載いたしますので、必ず週に1度はチェックするようにしてください。

### ◆学習センター閉所日について

福島学習センター及びいわきサテライトスペースの閉所日

(2023年度から、いわきサテライトスペースの閉所日は祝日等以外、月・火曜日となります)

毎週月曜日及び祝日・10月10日(火)・12月28日(木)～31日(日)

※2023年度『利用の手引き』第2学期日程表にある2月22日(木)の閉所は23日(金)の誤りです。申し訳ございませんが、ご確認をよろしくお願いいたします。

### ◆学生証・駐車場利用許可証の発行について

学生証は福島学習センター・いわきサテライトスペースともに、10月4日(水)から発行をいたします。詳しくは『利用の手引き』で確認してください。また、福島学習センターの駐車場を利用する場合についても、『利用の手引き』にて確認してください。

### ◆通信指導について

通信指導については『学生生活の葉』(学部62ページ、大学院64ページ)で必ず確認してください。提出期間は郵送による提出の場合、2023年11月15日(水)～11月29日(水)必着、Web通信指導による提出の場合、2023年11月8日(水)10:00～11月29日(水)17:00です。通信指導問題が11月6日までに届かなかった場合は大学本部(043-276-5111[学生サポートセンター])に連絡してください。

### ◆機関誌『もみじ』及び『利用の手引き』の配布方法について

配布方法については、福島学習センターウェブサイト内の「機関誌紹介」(下記URL)に配布方法が掲載されています。配布希望者の方はウェブサイト参照の上、お手続きをしてください。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/about/magazine.html>



## 「2つの物流」

石川 友保

最近、「ロジスティクス」や「サプライチェーンマネジメント」や「物流の2024年問題」<sup>注1)</sup>など、物流に関する用語がニュースで取り上げられる機会が増えており、物流を専門分野とする研究者としてうれしく感じています。このように注目されている物流ですが、「物流とは何か?」と聞かれたときに、「物の流れ」「トラックや船で物を運ぶこと」「商品の輸送や保管」など、人によって答えが異なるように感じます。

その理由の1つに、2つの物流(物的流通、物資流動)があります。物的流通とは「商品そのものの空間的・時間的移動と高付加価値化」<sup>注2)</sup>です。商品の空間的な移動は「輸送」、商品の時間的な移動は「保管」、高付加価値化は「流通加工」「包装」「荷役」「情報」のことです。このうち、流通加工は贈答用のセット化や検品、荷役はトラックへの積み込みや荷おろしのことです。一方、物資流動とは「商品の移動現象」です。商品の移動現象は「輸送」と「保管」であり、高付加価値化は含まれていません。この2つの言葉は短縮すると、ともに「物流(物的流通、物資流動)」となり、「物流」という言葉が異なる意味を持ちます。

この2つの物流を念頭に「物流の2024年問題」について考えてみましょう。「物流の2024年問題」は、トラック運転者の拘束時間(始業から終業までの時間。実労働時間と休憩時間の合計)が長いことを背景に生じています。そして、国土交通省の調査<sup>注3)</sup>によると、トラック運転者の平均拘束時間13時間27分のうち、運転時間が6時間41分、荷待時間が1時間45分、荷役時間が2時間44分です(荷待ち時間のある運行の場合)。この調査結果から、トラック運転者の拘束時間は運転のみではないことがわかります。このとき、物資流動では「物流の2024年問題」を運転(=輸送)としか捉えられませんが、物的流通であれば運転(=輸送)と荷待・荷役(=荷役)と捉えることができます。このように、言葉の定義によって、問題の捉え方が異なることとなります。

「物流」に限らず、同じ言葉であっても複数の意味を持つ場合があり、研究や学習においては言葉の定義がとても重要であり、特に得意な科目や人生経験の異なる人同士のコミュニケーションではその違いに注意する必要があると考えています。もちろん、あまり言葉の定義にこだわり過ぎると面白味のない会話になってしまうので、言葉の定義に注意しつつ、でもこだわり過ぎずに、授業をしていきたいと思えます。

注1)「物流の2024年問題」とは、2024年4月1日以降、自動車運転の業務に対して年間の時間外労働時間の上限が960時間に制限されることによって生じる諸問題に対する総称

注2)「【増補改訂版】ロジスティクス概論」(苦瀬博仁編著、白桃書房、2021年)より

注3)「トラック輸送状況の実態調査結果」(国土交通省、平成27年調査)



## 退任のあいさつ

東日本国際大学経済経営学部准教授  
南雲 勇 多



この度、任期の途中で大変恐縮ではございますが、奈良へ移ることに伴い、退任させて頂くこととなりました。この福島の地で放送大学の客員教員として2022年の4月から約1年半、貴重な経験をさせて頂き、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

特にいわきサテライトスペースを担当させて頂いていた関係で、同スペースにて面接授業に参加して下さった学生の皆様、またゼミの活動を通して学びの場を協働

的に築いてくださった方々、そしてご親切にそのサポートをしてくださった福島の学習センターおよびいわきサテライトスペースの関係者・スタッフの皆様へ深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

以前この「もみじ」でも引用させて頂いたユネスコの学習権宣言を重ねて引かせてもらえば、ここでは「学習権」とは「読み書きの権利であり、問い続け、深く考える権利であり、想像し、創造する権利」であるとともに、「自分自身の世界を読みとり、歴史をつづる権利」であるとうたわれています。学びとは私たちが今生きている世界を読みとる営みであり、また、私たちは過去の歴史を知るだけでなく、学びを通して現在進行形で紡がれている歴史そのものをつづる主体となる権利があるのだとわかります。換言すれば、学びとはそこに生きる自分の人生や生命(いのち)を自らに取り戻す行いであり、そしてそれは世界や歴史と自分との関係性を編み直していくことでもあるといえます。

戦後一貫して教育を問い続けてきた教育学の大家に大田堯(おおたたくし)先生という方がいらっしゃいました。ある発刊紙の企画で対談をさせて頂いたことがあります。その大田先生は「生きることは学ぶこと」であり、「学ぶことは生きること」であるとおっしゃっていました。学習権とはまさに人権であり、生きる権利、つまり生存権であるわけです。あわせて、大田先生は地域「で」、そして地域「から」、教育それ自体を問い、改革していく重要性をうたえられていました。

この放送大学の場で学ばれる皆様は、自らの学習権を求め、その権利を行使する存在であり、その人権の体現者です。また、地域の暮らしや仕事を通じた経験から教育や社会を問い直している存在でもあり、変革者でもあります。他を問い直すだけでなく、学びを通して自らが変わること、それは自らが関わる様々な他者との関係性を変えていくことにもつながります。

その皆様の日々の「学びづくり」の営みに敬意と感謝を表し、挨拶とかえさせて頂ければと存じます。誠にありがとうございました。

## 新任の挨拶

東日本国際大学経済経営学部教授  
山田 紀 浩



この秋からいわきサテライトスペースで客員教員を担当する事になりました山田紀浩と申します。ご存知の方もいらっしゃると思いますが2度目です。2017年4月から2022年の3月まで5年間の経験をしましたが慣れる事なく終了した感じです。学生の方々、事務の方々、所長をはじめ諸先生方、不器用な者ですがどうぞよろしくお願ひ致します。

私の専門は韓国社会です。この領域は政治問題が絡むと好き嫌いがはっきり出てきます。前回の客員教員を担当させて頂いた5年間は、反日色が強い韓国の政権だったために、本ゼミでの学習希望者は少なかったです(私が問題だったかもしれませんが)。ただ少ないなりに非常に熱心に学ばれるゼミ生たちを見て、私こそ力を得た感覚で充実していたのではと思っています。実は私は韓国でも地方の大学の日本語通訳科に所属して約5年間教鞭を執らせて頂いた経験がありましたが、この時にも日韓関係が悪化した時に、同学科の学生たちは肩身が狭い思いをしていたのを見ていました。好きな日本関連の勉強をしているのに罪悪感を持たせる社会状況は決して良い事ではないと思います。日韓関係に良好な関係を継続させる事は容易な事ではありませんが、それを願わずにはいられません。

ところでそんな政治色に全く捕らわれる事なく日本では韓流が根付いています。政治色に捕らわれの身であった者からすれば、この異次元には驚かされ、営利色に踊らされているなど冷視していました。しかし、ふと、日本の1970年代以降の商店街主導の街の賑わい創出を思い出しました。街に人を呼び込むために歩行者天国やそこでの様々なイベント事が行われましたが、「楽しかったなあ」と子供心に残っています。今の韓流ブームの後々の評価はわかりません。ただこれを満喫している人々の心には強く刻み込まれると思います。

日本の地域づくりは、戦後復興期を経て、政治行政主導のハコモノ作り、次に商店街主導の活性化事業、そして民間主導へと教科書には載りますが、日韓関係がこうなるとは限りません。ただ重ねて検討してみる事、また色々な角度から客観的に考える事は面白い事だと思います。もし興味のある方がいらっしゃれば日韓関係あるいは韓国社会についてお話をしたいです。また話は外れますが、復興関係の話も大歓迎です。

放送大学で色々な勉強とお話ししましょう！

## テーマ 「旧石器研究の最前線」



会場 **福島学習センター**

**會田 容弘** 先生

講義概要

縄文時代以前の旧石器時代はなかなかイメージが湧きません。人類史の中の旧石器時代は250万年間以上、日本の旧石器時代は2万5000年間以上です。とても長い時間ですが、わかっていることはほんの少しだけ。私たちは会津若松市笹山原遺跡を発掘し3万年前の旧石器を掘り続けています。身近な資料を用いて、旧石器時代を覗いてみましょう。

人類史の中の日本旧石器時代。昨年ノーベル医学生理学賞を受賞したスバンテ・ペーボ博士は遺伝子人類学の研究者です。人類史研究が人骨から遺伝子研究にシフトしました。最新研究を見てみましょう。

1 10月7日(土)  
13:00~14:30

2 10月28日(土)  
13:00~14:30

3 11月4日(土)  
15:00~16:30

4 11月18日(土)  
13:00~14:30

5 12月2日(土)  
13:00~14:30

6 12月16日(土)  
15:00~16:30

7 12月23日(土)  
13:00~14:30

旧石器研究と環境問題。長い旧石器時代は寒い氷河期と考えられていました。しかし、最近の研究では、激しい気候変動があったことがわかってきました。

石器をどのように理解するか。旧石器人が残した石器から、何がわかるのでしょうか。石器を作り、使った人間の動作連鎖に注目してみました。

石器はどのようにして作るのか。様々な石器の材料、石器の作り方の製作実験を通して、再現してみましょう。

石器はどのように使うのか。破損痕跡や使用痕跡から石器の使用方法を研究する方法を学びます。

旧石器遺跡でヒトは何を行っていたのだろうか。石器資料と潜在構造物の関係性から、人間の痕跡を探します。

等身大の旧石器人を想定し、遺跡の中の旧石器人の行動痕跡をつなげてゆきます。旧石器人の姿が見えるでしょうか。

## テーマ 「最近の心理学研究の動向から」



会場 **福島学習センター**

**五十嵐 敦** 先生

講義概要

日本心理学会が発行する「心理学ワールド」の2022年版から、いくつかレポートを選んで参加される皆さんと一緒に読みます。研究論文とは異なり2~3ページ程のレポートです。最近の話題やその研究動向など探ってみましょう。担当者の専門外の領域も多いので、皆さんと情報交換をしながら一緒に学びたいと思います。なお、各回のテーマはあくまでも予定です。

「心理学ワールド 97」  
COVID-19の感染拡大による  
社会の変化

「心理学ワールド 97」  
ふしぎの国の民主主義の  
通文化的構図

「心理学ワールド 98」  
正しさに潜む「義」と「偽」

「心理学ワールド 98」  
人工知能による判断の  
自動化と道徳的問題

「心理学ワールド 98」  
SNSの中で“つくられる真実”  
と“対立する正しさ”

「心理学ワールド 99」  
認知行動療法を学ぶ  
ゲームアプリ

「心理学ワールド 99」  
メンタルヘルスアプリの評価  
指標と留意点に関する概観

1 10月8日(日)  
15:00~16:30

2 10月22日(日)  
10:00~11:30

3 11月4日(土)  
10:00~11:30

4 11月5日(日)  
10:00~11:30

5 12月3日(日)  
10:00~11:30

6 12月17日(日)  
10:00~11:30

7 1月7日(日)  
10:00~11:30



## —ゼミの受講について—

ゼミは、客員教員がテーマに沿って授業を行います。

ただし、面接授業とは違い、一方的に授業をすすめるものではありません。学生さんと対話をしながら授業を行っていきます。

1回ごとに行われていますので、途中からでも参加できます。ゼミを受講する場合の申し込み・授業料は不要です。正規の単位にはなりません。積極的な参加をお待ちしております。

※都合により、日程が変更になる場合があります。その都度、館内に掲示しお知らせいたします。なお、日程の確認は電話での問い合わせも可能です。

### テーマ 「身近な例題で学ぶOR」



会場 **福島学習センター**

**石川 友保** 先生

講義概要

オペレーションズ・リサーチ(OR)は、問題解決のための科学的手法です。ORは様々な分野で使うことのできる手法であり、私たちの身近な問題にも活用することができます。本ゼミでは、OR関連図書から、身近な例題を厳選し、毎回1つのテーマについてじっくり解説します。本ゼミでは身近な例題を通じて、ORでどのような問題が解けるのかを学びます。

- 1 10月8日(日) 10:00~11:30 「ORのはじまり」
- 2 10月22日(日) 13:00~14:30 「ゲーム理論」  
(共働きの夫婦はどのように家事を分担すれば良いか?)
- 3 11月5日(日) 13:00~14:30 「シミュレーション」  
(おつりはどれくらい用意すれば良いか?)
- 4 11月19日(日) 10:00~11:30 「階層化意思決定法」  
(どの車を購入すれば良いか?)
- 5 12月3日(日) 13:00~14:30 「ネットワーク計画」  
(どのルートで何人移動すれば良いか?)
- 6 12月24日(日) 10:00~11:30 「組合せ最適化」  
(観光地をどの順番で回れば良いか?)
- 7 1月7日(日) 13:00~14:30 「身近な問題を解こう」  
(参加者で、身近な問題を持ち寄ろう)

### テーマ 「英国の文学を通して社会と文化と人びとを読む(その2)」



会場 **福島学習センター**

**高田 英和** 先生

講義概要

1学期に引き続き、近代の、英国の、児童文学を読みます。文学テキストを通して、比喩やイメージ、時代背景および社会/文化的な事象(階級、愛、友情など)を同時に深めていきます。また、映像・アニメーション等を用いて、近代英国児童文学、その作品の現代的な受容と意義についても、考察します。授業では、各自、予習してきたものをもとに、質疑応答、ディスカッションなどの活動を、主体的に行っていきます。

- 1 10月14日(土) 10:00~11:30 はじめに  
——授業概要の説明、作品/作者とその時代について
- 2 10月21日(土) 10:00~11:30 英文学と社会①  
——大人と子ども
- 3 11月4日(土) 13:00~14:30 英文学と社会②  
——子どもと老人
- 4 11月18日(土) 10:00~11:30 イギリス文学と文化①  
——老人と動物
- 5 12月2日(土) 10:00~11:30 イギリス文学と文化②  
——成熟と愛
- 6 12月16日(土) 10:00~11:30 English Literatureと人びと  
——国家と国民
- 7 12月23日(土) 10:00~11:30 おわりに  
——さまざまな国、社会/文化における受容について

# 令和5年度 第2学期 ゼミのお知らせ

## —ゼミの受講について—

ゼミは、客員教員がテーマに沿って授業を行います。ただし、面接授業とは違い、一方的に授業をすすめるものではありません。学生さんと対話をしながら授業を行っていきます。1回ごとに行われていますので、途中からでも参加できます。ゼミを受講する場合の申し込み・授業料は不要です。正規の単位にはなりません。積極的な参加をお待ちしております。  
※都合により、日程が変更になる場合があります。その都度、館内に掲示しお知らせいたします。なお、日程の確認は電話での問い合わせも可能です。

## テーマ 「里山の活性化について考える」



会場 **いわきサテライトスペース**

**山田 紀浩** 先生

講義概要

震災以降、いわき地方では復興事業が継続中の状況です。ただいわきと言えば海というイメージが付きもので、これまでの活性化事業も海辺あるいは海産物からヒントを得た商品開発が多かったように思います。ところでいわき地方にも古い歴史を持つ山の暮らしと伝統が脈々と受け継がれてきています。震災以降に人口減少が著しいこれら地域について、本ゼミでは考えてみようと思います。

※会場については変更の可能性がありますので、いわきサテライトスペースもしくは福島学習センターWebページでご確認ください。

- |   |                          |                       |
|---|--------------------------|-----------------------|
| 1 | 10月7日(土)<br>10:00~11:30  | 過疎と限界集落について           |
| 2 | 10月28日(土)<br>10:00~11:30 | イギリス人記者の見た<br>東北のイメージ |
| 3 | 11月4日(土)<br>10:00~11:30  | 里山の伝統文化の<br>復活について    |
| 4 | 11月11日(土)<br>10:00~11:30 | 地域ブランドについて<br>考える     |
| 5 | 12月9日(土)<br>10:00~11:30  | いわきの保存食について           |
| 6 | 12月16日(土)<br>10:00~11:30 | 里山活性化と小冊子             |
| 7 | 1月6日(土)<br>10:00~11:30   | 里山に対する幻想と<br>現実について   |

## — 所長カフェのご案内 —

所長カフェはコーヒー・紅茶を片手に気軽に参加できるゼミです。月1回中下旬の木曜日か金曜日、13時30分~15時00分ぐらいで開店します。

「興味・関心のあること、疑問に思っていること等を自由に語り合いたい」、「調べてレポートにまとめてみたい」、「卒業研究にチャレンジしてみたい」等々と考えている方は少なくないかもしれませんが、ただ、実際に始めようとしてみると、「テーマをどのように設定したらいいのかかわからない」、「自分なりの見方や考え方を持てない」と悩んでいる方もいるのではないのでしょうか。こうしたことに1人で向き合うのは簡単ではありません。そこで、2学期から所長カフェを開店し、一人一人が立てた問いや調べてきた事柄を相互に共有しながら自分なりの見方を探し・つくり・発展させる機会としたいと思います。

一緒に挑戦してみませんか。少し覗いてみようという方も歓迎します。関心のある日のみの参加でも構いません。お待ちしております。

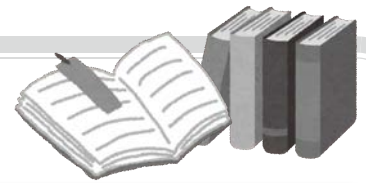
- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| 10月27日(金) | ガイダンスと交流        |
| 11月24日(金) | 第1回 興味・関心を語りあう  |
| 12月21日(木) | 第2回 課題の整理       |
| 1月26日(金)  | 第3回 課題の発展       |
| 2月22日(木)  | 第4回 発表・ラウンドテーブル |





# 学生サークル紹介

## Book Club



Book Club の課題のマイルストーンにして

Book Club 加藤 英夫

今回は、加藤がBook Clubの紹介をさせていただきます。私は放送大学に入学してから6年経過し、一度卒業した後再入学しています。一度卒業して得たことは幅の広い分野の教養を身に付けるまでにはいかないまでも、その分野があるということでした。特に英語については本来嫌いではなかったのですが、社会人になってからは自分の職業に関する知識を入れるだけで精一杯な状況でした。しかし、心の中で英語に関して、なぜ深い読み方ができないのか？英字新聞などから情報を得て仕事に利用したい。また、近頃は日本国内のソースだけでなく英語で発信されるオンライン講義やニュースが非常に充実していることなどもあり、深い読み方ができるようになりたいと考えていました。

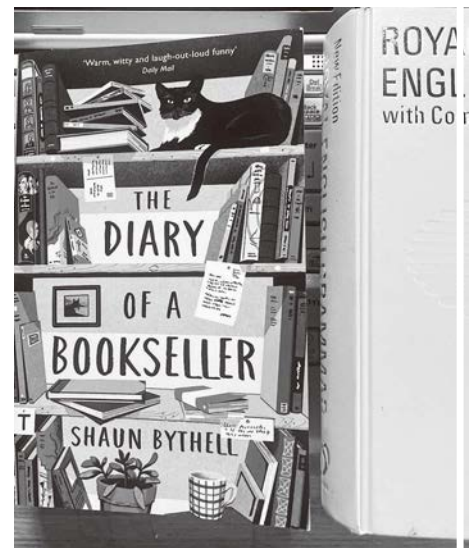
Book Clubはローテーションで英語の原書を訳して発表するのですが、参加当時はその当番をこなすことで精一杯でした。しかし、数年に渡って少しずつ続けるうちに読み方が変わってきたと実感しています。最初は単語の意味を調べるのだけで大変でしたが、勉強を進める内に構文や文型・挿入・倒置など。精読とまでは行かなくても深い読み方が少しずつ理解できるようになってきました。

一年の内に2回ほど順番が回ってきますが、その間にも英単語の語彙を増やすため英検1級までの単語帳を覚える努力をしたり(それでも分からない単語はでてきますが)、高校時代に投げ出してしまった英文解釈の参考書を再購入して熟読したり、終わりが無い勉強でもあります。自分が若い頃の英語の参考書と比較して現在の参考書は随分と分かりやすいものも多く、ネットで英単語や英文法などもすぐに調べることもでき、随分と変化していると感じられますが、現在の英語は早く情報を取ることが中心となっていて、英文の構造を詳細に分析するような時代ではないと感じられます。しかし、英語の原書に当たれば、そのような読解ではたちまち英単語の羅列に飲み込まれてしまいます。

思い出深いのはカズオ・イシグロの「日の名残り」を読んだときに、その裏にある世界史的背景も教養としてなければ、全体の理解ができないということでした。このようにして味わうことができるのだなということを知ったとき、ただの和訳ではないおもしろさも知ることができました。直訳→意訳→翻訳と段階的に進むことは、なかなか大学受験では味わえないものです。

現在もサークルの皆様を追いついていくのが精一杯ですが、参加される方が教養ある方々で学びが多いですし、自分の日頃の英語学習がどこまで進んできたかのマイルストーンにもなっています。

末永く英語を思考訓練の場として取り組んでいきたいと思っています。



# 面接授業 開設科目一覧

## 2023年度2学期福島学習センター開設科目

科目コード	科目区分	時 間	科 目 名	担当講師	実 施 日	定員	受付期限
2625903 220(中級)	導入科目 社会と産業	1時限～4時限 (9:30～16:40)	はじめての憲法	元井 貴子	10月14日(土) 10月15日(日)	24	受け付けません
2624680 320(中級)	専門科目 心理と教育		心理学実験1	木暮 照正	10月14日(土) 10月15日(日)	24	受け付けません
2625920 320(中級)	専門科目 生活と福祉	1時限～4時限 (9:30～16:40)	食と健康：食事と栄養と 体内環境	松田 幹	10月21日(土) 10月22日(日)	30	受け付けません
2625938 320(中級)	専門科目 生活と福祉	1時限～4時限 (9:30～16:40)	食事とホルモン ～なぜ食べる?～	梶谷 宇	10月28日(土) 10月29日(日)	24	受け付けません
2625946 320(中級)	専門科目 心理と教育		キーワードで探る 現代日本の教育	安部高太郎	10月28日(土) 10月29日(日)	24	受け付けません
2624737 320(中級)	専門科目 心理と教育	1時限～4時限 (9:30～16:40)	心理検査法基礎実習	木暮 照正	11月4日(土) 11月5日(日)	30	10月28日(土)
2625962 320(中級)	専門科目 社会と産業	1時限～4時限 (9:30～16:40)	建築デザインの現在と まちづくり	柴崎 恭秀	11月11日(土) 11月12日(日)	24	11月4日(土)
2626012 320(中級)	専門科目 自然と環境		環境微生物学	難波 謙二	11月11日(土) 11月12日(日)	24	11月4日(土)
2625970 320(中級)	専門科目 社会と産業	1時限～4時限 (9:30～16:40)	企業と組織の マネジメント論	平澤 賢一	11月18日(土) 11月19日(日)	24	11月11日(土)
2625989 320(中級)	専門科目 人間と文化		人間にとっての 宗教の意義	何 燕生	11月18日(土) 11月19日(日)	24	11月11日(土)
2626004 320(中級)	専門科目 情報	1時限～4時限 (9:30～16:40)	数学とゲームで考える 生命と進化	佐々木達矢	11月25日(土) 11月26日(日)	15	11月18日(土)
2625954 320(中級)	専門科目 心理と教育	1時限～4時限 (9:30～16:40)	学習と記憶の心理学	筒井 雄二	12月2日(土) 12月3日(日)	24	11月25日(土)
2625997 320(中級)	専門科目 人間と文化		クラシックから学ぶ 音楽入門	長瀬 賢弘	12月2日(土) 12月3日(日)	24	11月25日(土)
2625890 120(中級)	基盤科目 外国語	1時限～4時限 (9:30～16:40)	基礎から始める 実用英会話	伊藤 頼位	閉講となりました	24	受け付けません
2626020 420(中級)	総合科目		会津の資料を読み解く	長島 雄一	12月9日(土) 12月10日(日)	24	12月2日(土)
2625911 220(中級)	導入科目 情報	1時限～4時限 (9:30～16:40)	オペレーションズ・ リサーチ入門	石川 友保	12月16日(土) 12月17日(日)	30	12月9日(土)

※敬称略。今学期より定員の人数を以前の水準に戻しています。日程、不測の事態の授業形態については変更になることがあります。不測の事態の授業形態については放送大学ホームページや時間割冊子をご確認ください。

## 2023年度2学期いわきサテライトスペース開設科目

科目コード	科目区分	時 間	科 目 名	担当講師	実 施 日	定員	受付期限
2624680 320(中級)	専門科目 心理と教育	1時限～4時限 (9:30～16:40)	心理学実験1	高島 翠	11月4日(土) 11月5日(日)	24	10月28日(土)
2626080 320(中級)	専門科目 自然と環境	1時限～4時限 (9:30～16:40)	水資源と人間生活	高荒 智子	11月11日(土) 11月12日(日)	24	11月4日(土)
2626055 320(中級)	専門科目 心理と教育	1時限～4時限 (9:30～16:40)	社会心理学	高田 治樹	11月18日(土) 11月19日(日)	24	11月11日(土)
2626047 320(中級)	専門科目 生活と福祉	1時限～4時限 (9:30～16:40)	よりよく生き、 死と向き合う	鈴木 繁生	11月25日(土) 11月26日(日)	24	11月18日(土)
2626063 310(初級)	専門科目 社会と産業	1時限～4時限 (9:30～16:40)	市民社会形成と 里山の復興	山田 紀浩	12月2日(土) 12月3日(日)	24	11月25日(土)
2626071 320(中級)	専門科目 人間と文化	1時限～4時限 (9:30～16:40)	日本社会における読書	後藤 美緒	12月9日(土) 12月10日(日)	24	12月2日(土)
2626039 120(中級)	基盤科目 保健体育	1時限～4時限 (9:30～16:40)	生涯スポーツの実践	中川 希望	12月23日(土) 12月24日(日)	24	12月16日(土)

※敬称略。今学期より定員の人数を以前の水準に戻しています。日程、不測の事態の授業形態については変更になることがあります。不測の事態の授業形態については放送大学ホームページや時間割冊子をご確認ください。



# 福島学習センター・いわきサテライトスペース開設科目に係る 面接授業追加科目登録申請について

～まだ空席がある面接授業(スクーリング)について履修者を追加募集しています～

## ●面接授業について

面接授業(スクーリング)は、教室などで教員から直接受ける授業のことをいいます。面接授業は全て、1科目1単位です。全科履修生は、卒業するために面接授業又はオンライン授業の単位を20単位以上修得する必要があります。選科・科目履修生は必修ではありませんが、自分の学習したい内容にあわせた面接授業を受講することができます。空席のある科目について追加で科目登録ができますのでご案内いたします。

### 教科書・参考書について

教科書は講義の中で使用するものです。必ず各自で購入してください。教科書がないと授業だけでなくレポートの執筆にも影響することがあります。

参考書は必ず購入しなければならないものではありませんが、講義を理解するうえで参考になるものです。学習センター図書室で閲覧できるものもあります。

### 学生教育研究災害傷害保険について

要保険加入の科目は「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄学習センターにて加入してください。

### 開設科目の確認

- ・面接授業開設科目一覧
- ・面接授業時間割表[北海道・東北ブロック]
- ・放送大学Webページ
- ・システムWAKABA
- ・学習センター掲示

※福島・いわき以外で開設の面接授業については開設する学習センターに問い合わせてください。

## ●申し込み方法

### 空席を確認してください

空席発表 令和5年10月14日(土) 12時

#### ●開設科目の空席状況が発表になります。

学習センター・サテライトスペースの掲示板・放送大学Webページ・電話(024-921-7471)で確認できます。

### 希望する面接授業の事前申請をしてください

事前申請期間 令和5年10月14日(土)～18日(水)

#### ●郵送または直接来所して事前申請をしてください。 電話・FAX・Eメールによる受付はできません。

	来 所	郵 送
必要なもの	科目追加登録申請書 学生証(学生証持参なら 代理人でも可)	科目追加登録申請書 (学生証写し添付)
申請方法	福島学習センター及びいわきサテライトスペースへ学生証を持参して来所する	福島学習センターへ封書の表に「科目追加登録申請書在中」と朱書きし郵送

## 事前申請期間

## 追加登録発表

### 追加科目登録者を決定します

#### ●事前申請者に対し、申請の結果(可否)を登録開始日の10月19日(木)、10時30分～12時の間に電話で連絡します。

なお、この時間に連絡がとれなかった方は、15時までに024-921-7471まで電話してください。

### 上記以後、追加科目登録期間が変わります

10月～12月開講の授業：10月19日(木)～科目ごとに定められた追加登録受付期限日

### 授業料について

#### ●授業料の支払について

納付は学習センター窓口又は郵送でお願いします。なお、追加科目登録受付期間中、空席が生じている科目については、先着順で受け付けいたしますので、授業料を添えて申し込んでください。また、お釣りのないようにご準備ください。

#### ●授業料を郵送する場合

- 【授業料】 ◆現金書留又は郵便為替 5,500円  
【返信用封筒】 ◆宛名明記  
◆84円切手添付  
◆長形3号

## 追加科目登録受付期間

2023年度（令和5年度）第2学期

面接授業（学習センター  
サテライトスペース開設科目）科目追加登録申請書

学 生 番 号		-											-
---------	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

氏 名													
連 絡 先	〒 -											電 話 : ( )	
												メー ル :	

### 学生証（写）貼付欄

（郵送の場合は、学生証（写）の添付のない申請書は無効です）

- 一度登録した科目の変更・取消、授業料の返還はできませんので、あらかじめご了承ください。
- 追加登録申請書は郵送する前に必ず（写）をとり保管しておいてください。

希望	科 目 コ ー ド	ク ラ ス	科 目 名	第 1 回 目 の 日 程
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

備考
----